



2024(令和6)年1月1日発行

第117号

伊深まちづくり協議会

ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram

ibuka_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram

gallery_ibuka



IBUKA_MACHIZUKURI



《新年のごあいさつ》

わくわくする年を皆さんと

伊深まちづくり協議会

会長 小林喜典



新年明けましておめでとうございます。

まちづくり協議会のいろんな活動に対して、町民の皆さんにはご理解とご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染も少なくなり、いろんなイベントが再開できる年でした。しかしながら、3年以上の空白で運営の体制等が整わず、イベント毎の実行委員会が苦慮しました。

まちづくり協議会では毎年コロナ対策をしながら活動をしていましたので、新しい企画を提案し開催となりました(雨天中止もあり)。

そんな中、2月は凧揚げ大会、3月は旧JA伊深支店跡地に遊具などは置かない「いぶいぶひろば」の名で憩いの広場として公園が完成しました。これで、前連絡所、旧JA伊深支店の解体に伴い、新しい交流センター(連絡所、JA営業所、ATMコーナー)の一円整備が終了しました。

5年度の活動を振り返ると、4月はいぶカフェ2周年記念でマルシェ開催に伴い、軽トラ市場(地元野菜やお蔵の中の骨董品市)も人気でした。ホテルが舞う季節になると、子どもたちのさつまいも栽培、コメ作りも下町おやじの会が協力して始まりました。6月はホテルコンサート。夏休みには「学童クッキング」を開催し、64人が8班に分かれ、包丁を使い、皿洗いまでを体験し、カレーライスを作りました。ごはん研究会はイベントがある毎に食べ物を提供。また伊深食堂として「朴葉もち」「にんじんご飯」「朴葉すし」と郷土料理も人気です。9月には伊深小学校創立150周年記念事業として、旧校歌や昔の遊びを披露。そして「お月見コンサート」を開催。9月30日放送のテレビ朝日「人生の楽園」に旧伊深村役場「いぶカフェ」が登場(8月19～23日の間取材で私たちも出演しました)。

11月には文化祭を「秋フェスタ」として、実行委員会とともに、会場を交流センター周辺で行い、ギャラリー伊深は皆さんの写真や昔の物語を展示。作品展やこども映画会、市災害用備蓄倉庫にある調理器具を使用したうどんの販売や食品バザー、軽トラ市場やいぶカフェによるマルシェも開催しました。

12月30日には、募集した30人が参加し「年越しそば」を打ちました。

まちづくり協議会は伊深のほとんどの団体の集まりです。一部の人がやるわけではありません。

皆さんといっしょになって住みよい伊深を作っていきたいと考えています。

令和6年も、わくわくする年にしたいですね。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。



報告

12月9日(土)「ふるさと伊深の里学習発表会」が行われました ～伊深小学校創立150周年記念事業～



発表会は、全校児童の校歌合唱から始まりました。その後、学年ごとに、テーマに基づきこの一年で学んだことを保護者等の前で大きな声で堂々と発表をし、素晴らしい会となりました。1年生は学校探検や、先生へのインタビュー、毎日の生活を支えて下さる方々への感謝の気持ちを発表しました。2年生は伊深の好きな所をわくわくスタンプラリーで紹介しました。3年生は、「名前は知っているけど詳しくは知らない」ところを巡って、3つの散歩コースを作成しました。4年生は伊深の自然環境について、絶滅危惧種や、外来種について学び、伊深の環境を守るための提起をしました。5年生は伊深に伝わる食文化について学んだことをエプロン姿で発表しました。6年生は創立150周年記念事業とも併せて、伊深小学校の歴史を調べてまとめました。また、頭づくりや、体づくりなどに取り組んでいることも発表しました。どの発表にも、伊深が大好きだという気持ちがあふれ、地域・環境・伝統などへの感謝が込められていて、温かな気持ちになりました。当協議会でも新旧校歌や、昔の遊びなど、児童の皆さんと一緒に学ぶことができましたこれらの機会に感謝しています。



報告

12月2日 里山レーベン 調理実習のお手伝い

3回目となる里山レーベン講座は、参加者の皆さんの調理実習ということで、伊深ごはん研究会のメンバーがお手伝いしました。メニューは新米の収穫を祝う五平もちと、旬の大根を使った、けんちん汁や煮物、煮あえです。普段は調理をしないという人も、包丁を手に調理にチャレンジ！大胆な切り方でも、煮込み時間を工夫して、美味しく出来上がりました。「地域の食材を活用することはやっぱり良いこと」「身体が喜ぶごはんでした」との感想がありました。



報告

12月16日 こどもクッキング えんねパンをやきましょう実施

子ども会育成会のクリスマス会に、当協議会でえんねパンをプレゼントすることにしました。そこで子どもクッキングとして、参加者を募集。16人が参加してくれました。粉をふるうところから、ボールを押さえる人、ふるう人、粉を入れる人など役割分担し、役割を交代しながら調理しました。焼きあがりを待つ間には、鬼まんじゅうと、五平もちも作りました。えんねパンを4台焼くことができ、楽しい時間となりました。



今後の予定

- 1月以降に以下の事業を実施する予定で進める(一部協力する)ことにしました。
- ・2月4日 風あげ大会
- ・昨年から引き続き みのかも里山レーベン 澁澤寿一先生講義等
(主催:さとやまシューレ、担当:市まちづくり課)

生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちょっとしたのむ輪)連絡員」または下記にご相談ください。
080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第117号

2024. 1. 1発行 (毎月1回1日発行)
発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典
事務局 美濃加茂市伊深町927-1
伊深交流センター内
電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001
※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

